

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2018-2019」 青少年と創る演劇「ならのはこぶね」 |
| 計画上の項目 | ①市民の文化に対する意識の高揚に関すること。 ⑤文化を担う人材の育成に関すること。 ⑥青少年の文化活動の支援に関すること。 |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>いずれの項目も押さえられており、今後発展する可能性もあるように感じた。 参加者が中高生であるため、世代交代を見据え、長期的に続けることで、更に意義のある事業になると思う。</p> <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>一日のみの公演であり、他のジャンルの芸術と比べても再現性が低いため、特に広報や記録には費用を書けるべきと感じた。 プロセスをふくめて作品価値があるので、参加者へのインタビュー動画やコメントを広報や次年度の参加者募集にいかせる部分があると思う。 また、公演全体は難しいが、一部のパフォーマンスなど、公演の前後にまちなかや、他の事業内で行えるといい。 観客としての若者の集客目標も設定すべきである。</p> <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ長期的に行い、事業OBが現役生を教えるという流れになってほしい。 ・大きな舞台での上演だからこそそのメリットもあるが、小さな会場で巡回公演などを行うことで、さらに多くの市民に届けられると感じた。 <p>その他所感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術的なレベルの高さとともに若者たちの自発性を感じた。 レベルの高さと一般の人が見られるような分かりやすさのバランスがよく、関係者の指導など、プロセスでのドラマを感じることができた。 ・映像の活用など、さらに演出に工夫ができる。 |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2018-2019」 青少年と創る演劇「ならのはこぶね」 |
| 計画上の項目 | <p>①市民の文化に対する意識の高揚に関すること。 ⑤文化を担う人材の育成に関すること。 ⑥青少年の文化活動の支援に関すること。</p> |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>①に関しては十分に満たしている。参加している青少年だけでなく、鑑賞に来た方々にも影響を及ぼしている。</p> <p>⑤人材の育成に貢献している。スタッフに関しては青少年から一般向けまで対象を広げてもいいのではないか。</p> <p>⑥青少年の文化活動の支援になっている。参加者以外への波及を求めたい。</p> <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果としては、むしろ安あがりと思える。他都市との比較が必要ではあるが、この質であれば500万円相当の事業。 ・目標値・指標については、アンケートの結果を待ちたいが、自己チェックシートにはもう少し工夫の余地があるだろう。 ・市民ニーズに合わせていくよりも、市民ニーズを掘りおこしていく、市民ニーズを創出する工夫や広報、アウトプットを考えるべき。 <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年間は継続し、この事業を青少年時代に経験した大人をつくっていくべき。また、記録・評価を残していく工夫をしていくべき。 ・事業としてはこのままの規模で維持し、新たに記録・評価を外部に委託する予算を確保したい。たとえ10万～20万円でも、それを専門とする団体や個人がいることで、この事業の外側や奈良市の外にいる人たちへの発信力が大きく変わる。 ・この事業を経験した青少年の、次のステップを考えていきたい。 <p>その他所感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術としてレベルが高く、最後まで緊張感がとぎれず楽しめた。 ・だからこそ外部からの専門家による評価を取り込むような工夫が欲しい。 |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2018-2019」 青少年と創る演劇「ならのはこぶね」 |
| 計画上の項目 | <p>①市民の文化に対する意識の高揚に関すること。 ⑤文化を担う人材の育成に関すること。 ⑥青少年の文化活動の支援に関すること。</p> |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>①参加している中高生及び関係者の人びとにとっては意識の高揚に繋がると思われる。 ⑤参加した中高生が成長する過程において、この事業での気づきや経験が生かされていくと思われる。その人たちが自らこのような機会をつくる側にまわることも、将来的にあるかもしれない。 ⑥まさにそのものである。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>稽古や本番の様子をアーカイヴ化し、誰もが気軽にみられるようにすることで、事業の意味がより伝え広まると思われる。 (演劇はその時間、その場で体感することが最も伝わる手法である。そこにいなければ伝わりにくいので、それを補い、その場に「行きたい」と感じさせる仕掛けを作れば、市民の意識高揚にも、より貢献できるだろう)</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>制作できる人材を市内に求めてはどうか。 市外の優秀で実践のある人材に委託することは、もちろん即効性があるが、長い眼で見たときに市の資産としては、そのような人材を市民の中につくりだしていくことも、今後重要になってくると思われる。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>出演した中高生のみなさんに心からのエールをおくります。</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 入江泰吉「古都奈良の文化財～総集編～」 |
| 計画上の項目 | ②芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関する事 |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見 (計画に基づいた事業であるかなど) (コメント) 十分に推進に値する事業だと思います。 奈良市が世界に誇れる芸術(写真)家が残された膨大な数の写真をテーマごとにまとめ、市民に広く親しんでいただく、という趣旨の事業としては適切と考えます。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど) (コメント) ・事業の内容やあり方については賛成です。 ・少ない費用はいいこと。その割には大きな効果が期待できる。 ・期待する来館者の対象を具体的に設定することが大切だと思います。 (年齢層別、目的別) ・目的別とは、芸術としての写真だけでなく、それを通じて求めるものが来場者によって異なると考えられるからです。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など) (コメント) ・市内県内来場者数が少ないのが残念。市民来場者を増やす工夫が必要。 ・学校との連携は中高生ぐらいの年齢層の方がいいように思います。 ・学校行事としての来館時は無料にする。その分を市の補助金で賄えないか……。補助金で賄えなくて困るぐらいの来館者が増えることを期待したい。 ・写真そのものはもちろんだが、写真を通じて別の角度から奈良をアピールする工夫ができないか……。</p> |
| | <p>その他所感 (コメント)現在の状況がどの程度かを十分に把握していませんが…… ・観光経済部、観光協会、奈良県との緊密な連携が必要 ・外部(奈良交通、JR西日本、近鉄、宿泊施設)とも緊密な連携 ・写真美術館、入江泰吉旧居の共通入館券を設定するなどの工夫 ・他の場所での写真展示(例:奈良まほろば館(県・東京ですが)など)</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 入江泰吉「古都奈良の文化財～総集編～」 |
| 計画上の項目 | ②芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>入江泰吉の写真から奈良の魅力をPR出来ているのは素晴らしい。施設は立派であるが、何か物足りない。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>最近写真を撮っている人を多く見かけるようになったが、これと連携した市民への取り組みは出来ないものかと思います。 施設の利用についても写真だけにこだわらず、奈良の世界遺産を取り扱う事が必要ではないかと思います。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>運営について、もっと大胆な考え方が必要。</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 近現代かな書の流れ③「現代かな書の成立」 |
| 計画上の項目 | ②芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>所属資料や館の設置目的上、どうしても限られた市民が対象となり、アウトプットとしての入館者数も限界があると思われる。奈良市として、この館の存在意義をどのように評価していくのかが問われているように思う。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>上記の項目とも関連するが、かな文字文化、書道芸術の振興が奈良市の文化発展にどのように寄与するのかはつきりさせれば、事業のあり方も自ずから決まってくるように思われる。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>奈良市固有の文化資源、たとえば墨製造、和歌(万葉以来の)、あるいは書道教育専修課程を持つ奈良教育大学との連携によって新たな展開を模索してはどうか。</p> <p>さらに、杉岡華邨氏も奈良教育大学の卒業生であり、また大阪教育大学でも長年教鞭を執られてきた経歴をお持ちなので、たくさんの教え子が活用されているのではないだろうか。高校・中学の書道教育との連携も可能性があるように思われる。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>奈良町に立地しているので、インバウンド観光を呼び込むことも可能だが、本来の目的とのバランス、整合性を考えることを忘れないでほしい。</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 近現代かな書の流れ③「現代かな書の成立」 |
| 計画上の項目 | ②芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>芸術鑑賞のエリアをどのように捕えるかも一方で問われるが、書道のハイレベルの博物館的な存在があること自体を、もっと市民が誇りとしてもいいのではないか。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>担当者の資質の高さ、企画、展示の工夫を高く評価したい。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>このような施設は、小エリアのまちづくりとの関わりも大きいので、位置づけを強化、再検討しても良いのではないか。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>アウトリーチ、インリーチ、センター機能の発揮は?と想定したが、現状のままでは難しいだろうと思う。</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 近現代かな書の流れ③「現代かな書の成立」 |
| 計画上の項目 | ②芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>「ならまち」エリアという比較的利便性のよい立地にあり、しかもとても落ち着いた雰囲気、来館された方には、ゆっくりと書に触れていただくことができる場になっていると感じた。一方で、「杉岡華邨」氏の名前を聞いているにも関わらず、同氏の作品の展示だけで、あとは年譜がある程度。同氏の生涯や生前のエピソードにはほとんど触れることができないのはもったいないと感じた。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>落ち着いた雰囲気がこの館の持ち味になっている。目標値や評価の基準を「入館者数」や「入館料収入」で測ると、この館の特性や、コンセプト自体がぶれる危険がある。アンケートを実施するなどして、利用者の「満足度」を数値化するほうがよいのではないか。また、見るだけの施設ではなく、ここで「初心者向けの書道教室」「古文書教室」を企画したり、奈良の特産品でもある筆、墨、和紙などの販売コーナーも設ける。簡単でよいので和カフェを設けることで、より市民に必要とされる文化的なスペースに進化できるのではないか。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>学芸員の説明を受け、展示の説明を受けると、書道に知識がなくても、展示を十分に楽しめることを実感した。短い時間でよいので、ギャラリートークの回数を大幅に増やすべき。または解説シートを設置するなどの工夫が必要。「書道美術館」という性格上、似通って感じられる展示が多くなるのは仕方がないが、せめて「タイトル」「チラシやポスターのデザイン」「ほかジャンルとの連動(「奥の細道の切手展」のような)に一工夫してほしい。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>外国人観光客にとって、「書」は非常にチャーミングなコンテンツである。誘い込みと、作品タイトルや解説を外国語表記することも課題として検討してほしい。</p> |

| | |
|--------|--|
| 事業名 | わらべうた教室 |
| 計画上の項目 | ④伝統文化の保存、普及及び継承に関すること。 |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見 (計画に基づいた事業であるかなど) (コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存、継承としてはふさわしい事業と思いますが、普及に関してはやや疑問。 しかし、あえて普及させることに注力はしなくてもいいと考えます。 ・子供たちが奈良の風土や文化を学ぶツールとしてはいい事業と思います。 |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど) (コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上に記した風土や文化を学ぶだけでなく、子供たちを育てるツールとしてもふさわしいものと思います。 ・受益者負担額としては妥当と思います。 ・受講者の対象設定については問題はないと思います。 ・市民ニーズに対応しているか・・・については特に深く考慮する必要はないと思います。 |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など) (コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうたを通じた世代間交流を推進してはどうか。 特に高齢者施設へのアウトリーチは高齢者にもプラスになると思います。 ・大きな行事への参加だけでなく、日常的な地域交流の機会を設ける。 (例えば柳生方面など、市内東部地域へでかけ、その子どもたちを含む地域交流をはかる。わらべうたとその背景にあるものを現場で学ぶなど) |
| | <p>その他所感 (コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の確保、および講師料は文化振興課として補助金を検討できないか・・・。 または、行事参加や現場へでかける際には(親の経済的負担軽減や差をなくすために)補助金を検討できないか・・・。 ・講師の善意はありがたいが、それに甘えてはいけないし限界もある。 |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|---|
| 事業名 | わらべうた教室 |
| 計画上の項目 | ④伝統文化の保存、普及及び継承に関すること。 |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>伝統文化の保存、普及、継承のためには、現在活動の中心となっている「わらべうた」の文化的価値、なぜ、奈良市でわらべうたなのかについての研究や発信が必要なように思われるが、その点の貢献が薄い。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>参加者数は少子化の影響もあって減っている。周辺部の子どもの数が増加することは難しく、またアクセスやいろいろな習い事の繁忙等から、当館を利用できる、しようとする家庭には限界があり、現在の事業を前提とする限り、参加者減の傾向が続くのではないだろうか。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>「わらべうた」教室を視察したが、若者のコミュニケーション能力の不足が問題となっている現状の中で、子どもの時から大人(指導者)を含む仲間とふれあう体験ができることは大きな意味があると思う。アウトリーチ活動に力点を置き、幼稚園・保育所等との連携や協働による出前事業など、市域全体にこの活動を積極的に普及させることを検討すべきであると思う。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>市外の人にとって、音声館という名称と、わらべうたの間には違和感があるのではないだろうか。このギャップを埋めていくことが本館の価値のアピールにつながっていくようにも思う(奈良時代の音声とわらべうたの関係、奈良のわらべうたの独自性?)。</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | わらべうた教室 |
| 計画上の項目 | ④伝統文化の保存、普及及び継承に関すること。 |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>幼児、小学生を対象とした事業として魅力的と考える。 出張(アウトリーチ)提供も行っており、地理的不平等の克服も図られているが、やはり地理的偏りがあると感じる。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>わらべうたに特化することが良いかどうか、政策的な位置づけが整理されていないことが気になります。 単なる「遊び教室」との違いが見えにくい。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>収集されたわらべ歌は、①整理、②分析、③保存を施した上で、④伝承へとなるのですが、①～④の流れが見えませんでした。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>指導に当たっている人たちの位置づけ、ローテーション等も知りたかった。</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | わらべうた教室 |
| 計画上の項目 | ④伝統文化の保存、普及及び継承に関すること。 |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>「わらべうた」の伝承や保存に役立っている事業である。 しかし、この事業の大きなビジョンが市民に伝わっておらず残念である。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>この事業の広報が弱い様に感じました。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>子供たちは、学校・学年を越えて参加しており、交流による人間関係も学んでいる素晴らしい事業だと思います。 課題としては、講師や関心を持つ人たちが固定化されているのは残念です。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>ピアノなど施設は整っているが、空調などの老朽化がある。</p> |

視察後評価シート(様式案)

| | |
|--------|--|
| 事業名 | わらべうた教室 |
| 計画上の項目 | ④伝統文化の保存、普及及び継承に関すること。 |
| 意見 | <p>本事業が計画における、上記項目の推進に資する事業であるかについての意見(計画に基づいた事業であるかなど)</p> <p>「わらべうた」を「伝統文化」といってもよいのか?の疑問が残る。よって、「わらべうた」の保存、普及、継承だけにこだわるのは望ましくないと感じた。実際に視察した「わらべうた教室」では、あいさつや、干支の由来にも触れていた点を高く評価したい。</p> |
| | <p>事業のあり方についての意見(目標値・指標が妥当性、費用対効果、重点対象設定の妥当性、市民ニーズに対応しているかなど)</p> <p>ほかの委員の発言にもあったが、指導者のスキルは非常に高いと感じた。それだけにこの場所だけでの開催とせず、このスキルやこれまでの経験の蓄積をいかし、市内幼稚園、小学校など市全域での「出張指導」も積極的に進めていったらどうか。</p> |
| | <p>本事業の今後についての意見・助言(継続実施の是非、拡充・縮小の必要性、改善点など)</p> <p>せっかく「音声館」という仏教にルーツをもつネーミングがついているので、奈良の寺院で盛んな「声明」についてもぜひ、保存、普及、伝承して行ってほしい。また、こども、親子のための施設から、広い年齢層の市民が利用しやすくなる工夫も必要か。ギャラリー、ステージの利用についての情報をもっと広報し、市民のみなさんにもっと活用してもらえようにつとめてほしい。</p> |
| | <p>その他所感</p> <p>入り口の看板をみて、「わらべうた」に力をいれている施設とわかりにくいのは公共施設としては問題あり。これからでも「愛称」をつけるなどして改善を図ってほしい。</p> |